

デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
第2次宍粟市地域創生総合戦略
<Plus DX> 版



令和5年10月
<骨子案>

宍 粟 市



目次

- ① 基本的な考え方<地域創生・総合戦略>
 - (1) 国によるデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定に係る
第2次宍粟市地域創生総合戦略(DX版)の策定の趣旨……………○○
 - (2) 計画期間……………○○
 - (3) 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の概要……………○○
 - (4) 宍粟市の地域創生を進めるための<Plus DX>の視点……………○○

- ② 第2次宍粟市地域創生総合戦略定住促進重点戦略に対する <Plus DX>
 - (1) 【住む】集落・地域の活性化と移住・定住の促進……………○○
 - (2) 【産み育てる】少子化対策……………○○
 - (3) 【働く】雇用の創出と就職支援……………○○
 - (4) 【まちの魅力】選ばれるまちづくり……………○○

- ③ 資料編
 - (1) 用語解説……………○○
 - (2) 宍粟市総合計画及び地域創生戦略委員会委員名簿……………○○
 - (3) 諮問・答申文……………○○
 - (4) 第2次宍粟市地域創生総合戦略DX版答申までの経過……………○○
 - (5) 市民参画／議会意見……………○○

①基本的な考え方〈地域創生・総合戦略〉

(1) 国によるデジタル田園都市国家構想総合戦略の策定に係る第2次宍粟市地域創生総合戦略(DX版)の策定の趣旨

我が国は、人口減少、超高齢化という大きな課題に直面しており、これらの課題の解決に向けて、平成26年11月「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。そして同年12月、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生戦略」が閣議決定されました。「まち・ひと・しごと創生法」においては都道府県・市町村による「地域版総合戦略」の策定が努力義務とされており、本市においても第1期となる「宍粟市人口ビジョン」と「宍粟市地域創生総合戦略～森林から創まる地域創生～」を平成27年12月に策定しました。

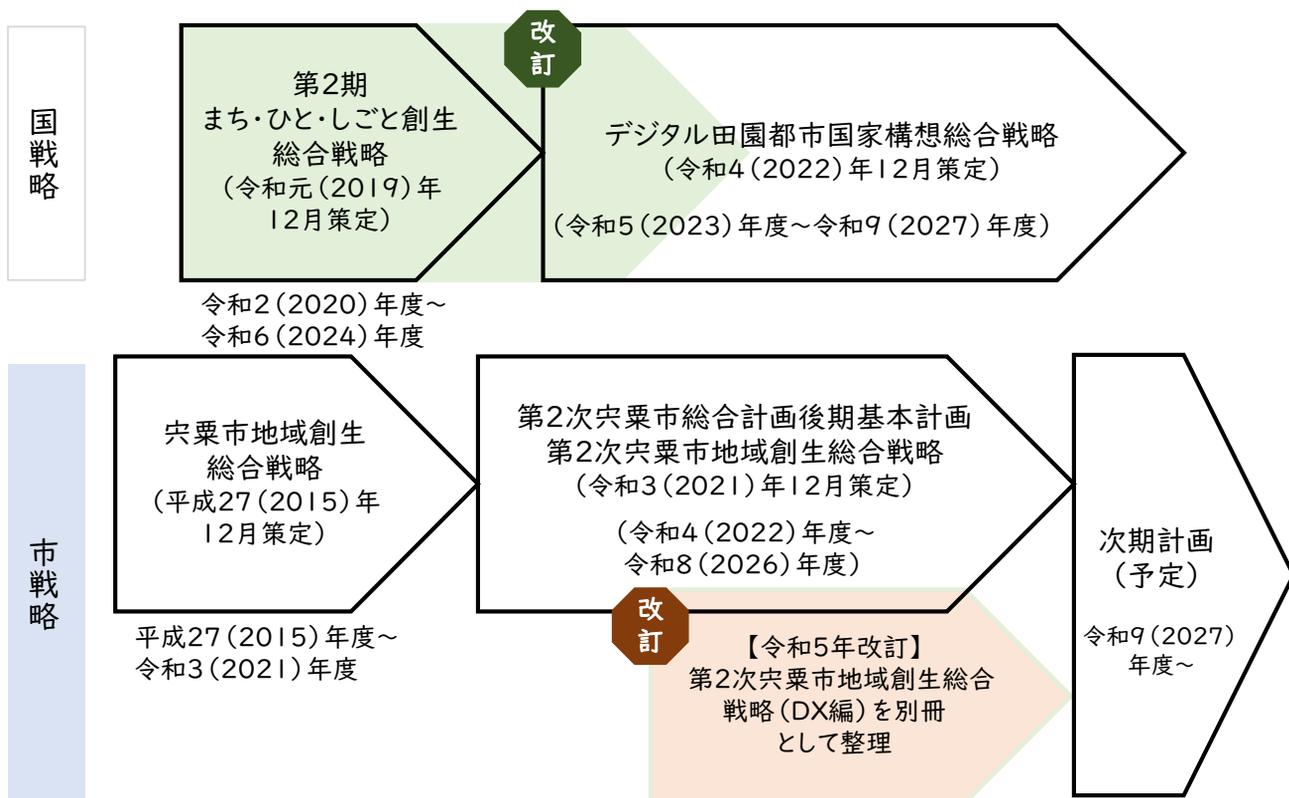
また、令和3年12月には「第2次宍粟市地域創生総合戦略」を策定し、前計画から引き続き「森林から創まる地域創生」をまちづくりのテーマに、本市の特徴を生かしながら【住む】【働く】【産み育てる】【まちの魅力】の4つの定住促進重点戦略に柱を置き、各種事業を推進してきました。

その後、国においては令和4年12月に従来第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂し、デジタル技術を地方の社会課題解決の鍵として「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」をめざす「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定されました。本市においても、これまでの第1期及び第2期の取組を、今後はデジタルの力を活用しながら継承・発展させていくことが肝要です。

こうしたことを勘案し、本市で実行すべき取組を体系的に整理し、本市の強みや特徴を生かした今後3か年の地域創生の指針となる「第2次宍粟市地域創生総合戦略(DX版)」を策定します。

■DXとは D(デジタル)とX(トランスフォーメーション:変革)を組み合わせた言葉。ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。デジタル技術を用いた変革。

(2) 計画期間



(3) 「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の概要

【デジタル田園都市国家構想総合戦略の施策の方向】

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業のDX(キャッシュレス決済等)、スマート農林水産業(センサーやリモート制御、ドローン等の活用)・食品産業、観光DX(地域における観光デジタル人材の活用)、地方大学を核としたイノベーション創出等

2 人の流れをつくる

「転職なき移住」の推進(地域おこし協力隊員の起業支援や、隊員の受入れ・サポート体制の充実)、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり等

3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり(テレワーク等の柔軟な働き方の普及促進、こどもDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進等

4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野におけるDX、地域交通・物流・インフラDX、地域資源を生かしたまちづくり、防災・減災、国土強靱化の強化、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタルの実装の基礎条件整備

1 デジタル基盤の整備

デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築(公共・準公共領域、産業分野)等

2 デジタル人材の育成・確保

デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保等

3 誰一人取り残されないための取組

デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、様々な事情に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立等

【市戦略の役割】⇒ 地域の特色や地域資源を生かした住民に身近な施策

(4) 宍粟市の地域創生を進めるための<Plus DX>の視点

第2次 宍粟市地域創生 総合戦略

① まち・ひと・しごとの視点

<ひとづくり>
ふるさとの良さを知り、
地域を支える人材確保と
ネットワークの強化

<しごとづくり>
今ある資源を生かした
産業の魅力向上による
好循環の創出

<まちづくり>
利便性が高く、地域性に優れ、
人口構造に合わせたまちの形成

② 木育の視点

森林の総合的な利用の促進
＝（イコール）
「森林」を活用したまちの創造

③ SDGsの視点

「誰一人取り残さない」社会を実現するという目
標達成に寄与しつつ、最重要課題である人口減
少対策を推進するため、基本施策とSDGsに掲
げられた17の目標との関連性を整理し、積極的
な取組を推進します。

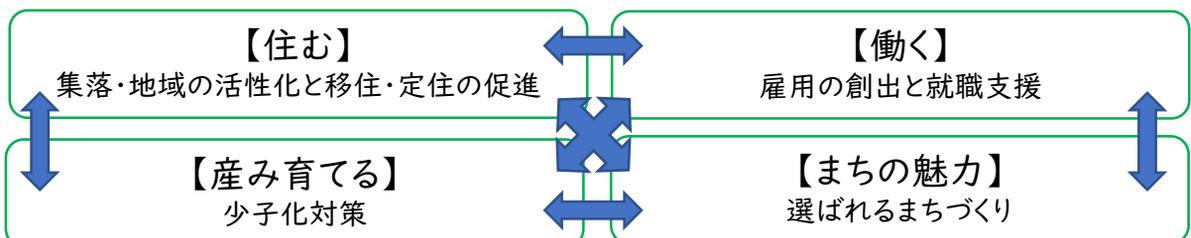


デジタル技術で暮らしと行政のあり方を再デザインし、
人と自然の輝きを、着実に未来へとつなぐまちをめざす

- ・デジタル基盤の整備
- ・デジタル人材の育成
- ・デジタル格差の解消

新型コロナウイルス感染症等を背景に、社会情勢の変化やデジタル技術の向上が急激に進んでいます。テレワークなどの働き方改革や地方移住への関心が高まるなど、デジタルの力を活用した地域創生の加速化や深化が求められています。多様なデジタル実装に向け、基礎となる環境整備に取り組み、DXによる社会変革への対応を図ることにより、本市の最重要課題である人口減少対策を進め、市民が「住み続けたい」と思い、市外の人々からは「住んでみたい」と思われる宍粟市をめざします。

宍粟市定住促進重点戦略 + <Plus DX>



②第2次宍粟市地域創生総合戦略 定住促進重点戦略に対する <Plus DX>

(1)【住む】集落・地域の活性化と移住・定住の促進

集落・地域の活性化と自主自立のまちづくりの推進。いつまでも住み続けられ生活しやすい環境づくりと移住希望者をスムーズに受け入れるための仕組みづくり。

関連する基本施策・個別施策	関連する主な取組
参画と協働・男女共同参画の推進 ①自主自立のまちづくり	団体活動の支援や担い手育成、コミュニティ支援員や地域おこし協力隊の受入促進と受入団体の育成・支援、情報発信の支援や情報共有の機会づくり
<Plus DX>	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインでの講演会・懇談会の開催 ・SNSの有効活用
生活圏の拠点づくりの推進 ①生活圏の拠点づくりの推進 ②公共交通ネットワークの充実	市民活動・交流拠点の整備、拠点の賑わいづくり、公共交通の利用促進、モビリティマネジメントの推進、路線等の充実・維持、公共交通における先端技術の活用検討
<Plus DX>	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅からできるオンライン手続きの整備 ・窓口相談へのAI導入 ・マイナンバーカードを活用したワンストップ窓口の設置 ・デジタル弱者への支援 ・デマンド交通の調査研究、次世代モビリティの調査研究
健康づくりの推進 ①生涯を通じた健康づくり活動の推進 ③スポーツを通じた健康づくり	食育の実践、健康づくりリーダーの育成と活動の場づくり、ウォーキングコースの設定やラジオ体操の普及、スポーツを通じて健康づくりに取り組むことができる環境づくり
<Plus DX>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した教育カリキュラム導入の検討 ・SNSの有効活用
スポーツ活動の推進 ①生涯スポーツ活動の推進	スポーツ活動の場の提供、ウォーキングリーダーやラジオ体操の指導員育成、スポーツ施設の適切な維持管理
<Plus DX>	<ul style="list-style-type: none"> ・eスポーツ等の調査研究 ・スポーツ施設予約管理システムの導入
高齢者福祉の充実 ①地域包括ケアの充実 ②高齢者の生きがいづくり・介護予防事業の推進	在宅生活におけるサービスの提供体制の充実、認知症高齢者を地域で見守り、支える体制づくり、訪問看護体制の強化、介護家族支援の充実、高齢者の生きがい・健康・居場所づくり、高齢者の就労機会の場の拡充、介護予防の促進
<Plus DX>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した人材マッチング導入の検討